

パン屋じゃないよ!



白パン棟梁の住まいる通信

発信元：(株)平田建設
2017年10月号
VOL.7

彼岸も過ぎ、めっきり風が涼しくなり過ごしやすい季節になりました。
先日の台風18号は全国各地に爪痕を残し、被災された方々には謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧、復興を心よりお祈り申し上げます。
年々、水害が全国各地で発生し、増えています。私たちの池田地区もいつかそんな時が来るかもしれません。もしもの話ですが、横谷川が氾濫してしまったらどんな行動をとればいいのか、考えたことがありますか？

「防災対策は自助・共助・公助で」

- 自助 = 自分で自分を助けること
- 共助 = 家族、企業や地域コミュニティで共に助けあうこと
- 公助 = 行政による救助・支援のこと

当たり前ですが、自分の命は自分で守るもの。自分の命を人任せにははいけません。実は池田地区の避難誘導の防災マニュアルはありません。

池田分館に災害対策本部ができることぐらいで、あとは災害に応じて対応するとか・・・災害は計画通りいかないから災害であって、その時に考えようってことですかね。

- 「避難勧告」= 災害による被害が発生する恐れのある場合に発令される避難を促す勧告
- 「避難指示」= 被害の危険が切迫したときに発令される指示で直ちに避難する必要がある

必要な時に自治体から伝わる情報、命を守るためにある避難情報を正しく理解し、正しい行動をとるためには、事前の訓練や準備が重要だと思います。災害時ほど、情報は要約され迅速さが重視されるため、事前準備をしていない人にとって、受け取った情報から「何をすればいいのか」「どこへ行けばいいのか」という状況に陥ることもあると思います。

仮に避難に関する情報が自治体から伝わってこなくても、「情報が無い」「情報がこない」ではなく自ら情報を集め、過去の経験や知見から事前に避難する基準を考えておき、自発的に避難出来るように、平日頃から家族やご近所さんと話をしておき、「もしもの時はどこへ逃げよう」「迎えに来るから」など考えておくことが重要だと思います。

本当は、災害なんてないほうがいいんです。けれども、これから先の時代、何が起るかわかりません。もし、その時が来てしまったら、みんなで助け合うことができる池田地区であってほしいと思います。

完成見学会をしました



エリちゃん秋のおすすめレシピ♪

簡単☆芋ようかん♪

- 〈材料〉
- さつまいも 500g (皮むいて)
 - 水 300ml
 - 砂糖 130g (さつまいもの甘さで調節)
 - 粉寒天 4g



- 〈作り方〉
- ① さつまいもは皮をむき、さいの目に切り水につけておく。
 - ② 鍋にさつまいもと水を入れ、さつまいもがやわらかくなるまで茹でる。(レンジでもOK!)
 - ③ 茹で上がったさつまいもをつぶす。
 - ④ 鍋に材料の水・砂糖・粉寒天を入れて火にかけ、混ぜ合わせる。沸騰してから1~2分煮立てしっかり溶かす。
 - ⑤ つぶしたさつまいもに④の寒天液を加え、さらによく混ぜ合わせる。なめらかに仕上げたい場合、裏ごしをする。
 - ⑥ 型に流し入れ、粗熱がとれたら冷蔵庫で冷やし固める。

ご感想お聞かせくださいね!



木ごころの家
株式会社 平田建設